

単元名 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう

『鳥獣戯画』を読む 調べた情報の使い方 日本文化を発信しよう

1. 単元構想図

【単元のねらい】
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えたり、引用したり、絵や写真などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

【本単元における国語の見方・考え方を働かせた姿】
自分の考えが伝わるように、文章全体の構成や展開を工夫したり、絵や写真などを用いたりして、書き表し方を工夫している。

単元の評価規準

知識及び技能

○日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。【(3)オ】

思考力・判断力・表現力等

◎引用したり、絵や写真などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【B(1)エ】

学びに向かう力・人間性等

○文章と図表などを結び付けて情報を読み取ったり、構成を工夫して書き表したりしてパンフレットを作ろうとしている。

単元をつらぬく課題： 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう

<第11時>互いにパンフレットを読み合い、それぞれの感想を伝え合う。【思・判・表 B(1)カ】

論の進め方を工夫したり、絵や写真を用いたりすることで、伝えたいことが読者によく伝わってくるようになった。

<第10時>引用したり、絵や写真などと文章の組み合わせを考えたりして、伝えたいことが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表 B(1)エ】

引用したり、絵や写真を組み合わせたりして、書き方が工夫できたよ。

<第9時>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。【思・判・表 B(1)ウ】

詳しく書く部分を考えて読者に魅力が伝わるように、書き方を工夫できたよ。

<第7・8時>伝えたいことを明確にし、効果的に伝わるよう、紙面構成を考え、文章全体の筋道を考えている。【思・判・表 B(1)イ】

最も伝えたいことが読者に伝わるように、論の進め方を考え、工夫できたよ。

<第5・6時>目的に応じて日本文化について書かれた本から必要な情報を見つけている。【学びに向かう力】

私は花火についてのパンフレットを作ろう。表現をどう工夫すれば、その魅力が読者に伝わるだろうか。

<第4時(本時)>絵などの資料の使い方や表現の工夫、論の進め方について考えることで、読者に分かりやすくなっていると考えている。【思・判・表 C(1)ウ】

筆者は呼びかけの言葉を使うなどすることで、読者の注目をひこうとしたことが分かった。

<第3時>文章と図表を結び付け、筆者の見方をとらえている。【思・判・表 C(1)ウ】

筆者は、『鳥獣戯画』をすばらしい作品だととらえていることが分かった。

<第2時>本文を読み、比喻や反復などの表現の工夫に気付いている。【知・技(1)ク】

筆者は体言止めや比喻などの表現の工夫をしながら本文を書いているな。

<第1時>『鳥獣戯画』に関心をもち、見通しをもって日本文化を発信していこうとすることができる【学びに向かう力】

『鳥獣戯画』が漫画やアニメのもとになったんだな。自分はどうな日本文化を調べようかな。

各単位時間における評価規準

授業後の児童の意識

既習事項

- 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。(5・6学年 思・判・表 B-A)
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つかったり、論の進め方について考えた

た

本時のねらい

図と文や段落同士のつながりに着目して読むことで、筆者の用いている表現や論の進め方に工夫があることに気づき、その効果について考えることができる。(思・判・表 C(1)ウ)

3 本時の展開 (4/11)

進	学 習 活 動 (◎教師の発問 ○児童の発言)	教師の働きかけ
導	<p>1 前時学習したことの確認を行う。</p> <p>◎筆者の「絵」や「絵巻物」に対する評価について振り返りましょう。</p> <p>○「のびのびと見事な筆運び」とあり、筆者はこの絵巻物を素晴らしいものと捉えていると思います。</p> <p>◎今日は筆者がどのような工夫をしているのかを見つけてみましょう。</p>	<p>・掲示物を活用し、前時までは絵に対する筆者の評価を振り返り、本時はその評価を読者に伝えるための筆者の工夫について考えていく、という見通しをもたせる。</p> <p style="text-align: right;">【研究内容1】</p>
入	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【課題】絵巻物の魅力を伝えるための工夫は何だろう。</p>	<p style="text-align: center;">個に応じた指導・援助</p>
展	<p>2 グループで交流しながら筆者の工夫について考えノートにまとめる。</p> <p>◎筆者の工夫について、分かったことや考えたことをノートにまとめましょう。</p> <p>○僕は本文を読んで、文末の表現に工夫があると思いました。それは、文末の表現が「～だ。」ではなく、「返し技。」や「かわず掛け。」となっていることで、実況のような臨場感を感じました。</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【C→Bの手立て】 工夫を見付けられない児童に関しては、タブレットにヒントを送り、それを活用することで自分の考えをもてるようにする。</p>
開	<p>3 グループ交流で見つけた工夫を自分のノートにまとめる。</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【B→Aの手立て】 工夫が複数見付けられた児童に関しては、その工夫を自分がパンフレットを作成する際にどこで活用したいのかと問い、考えることができるようにする。</p>
終	<p>4 全体交流を行う。</p> <p>◎全体で交流し、仲間の考え方を知りましょう。</p> <p>○仲間の考えを聞いて、確かに本文の中での「絵」の出し方には工夫があると思いました。それは、最初からすべての絵を示さないことで読者に想像させることができると考えたからです。</p> <p>○漫画を例にして説明したことで、見慣れない「絵巻物」について考えやすくなっている。</p>	<p>・グループ交流では書き込みながら交流を進めるように、各グループに書き込みができるプリントを用意する【研究内容2】</p> <p>・全体交流では、ハンドサインを活用して意図的な指名を行うことで、3つの観点について考えを深められるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【研究内容2】</p> <p>・全体交流の際、児童が出した意見を、表現の工夫、論の展開、絵の示し方の3点に分けて黒板に示す。</p>
末	<p>5 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>◎筆者がなぜ工夫したのかを含めてまとめを書きましょう。</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">【まとめの例】筆者は『鳥獣戯画』が素晴らしいものだ伝えるために、漫画やアニメを例に説明することで「絵巻物」を身近なものに感じさせたり、文末の表現を工夫したりすることで読者をより引きつけられるように工夫をしている。</p>	<p>・まとめを①筆者が行っている工夫②なぜその工夫を行ったのかの2つの観点で書くように指示する。 【研究内容3】</p> <p style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"><評価規準> 絵などの資料の使い方や表現の工夫、論の進め方について考えることで、読者に分かりやすくなっていると考えることができている。(ノート・発言)</p>